

請願第1号「松田町オンデマンドバス事業に関する事実関係の調査及び町民への説明責任の履行を求める請願」

【討論】

賛成討論

吉田 功 議員

私は、議会運営委員会「請願1号 松田町オンデマンドバス事業に関する事実関係の調査及び町民の説明責任の履行を求める請願」の審査報告について、賛成の立場で討論に参加します。

2023年10月から実証運行を行ってきたAIオンデマンド交通は本年3月31日をもって実証実験を終了しました。この事業は松田町地域公共交通会議、自治会長連絡協議会、各地域の説明会等で当初から事業の成立が心配されていました。

町が8,000万円を超える委託金及び補助金を出しながら、委託先の（一社）足柄オンデマンドが

運行委託業者に未払いという状況を生じたこの事業は、町のホームページによれば、1年目の収支率が3.3%、2年目が7.62%、3年目が9.46%となっております。1年目から監督・指導が適切になされていればこのようなことにはなりませんでした。

他の事業も同様に委託されているものがありますので、今回の事業について調査・検証すべきと考え、委員会報告について賛成討論とさせていただきます。

請願第2号「松田町オンデマンド交通事業に関する調査特別委員会設置を求める請願書」

【討論】

賛成討論

井上 栄一 議員

私は、本請願の紹介議員として、委員会報告に賛成の立場から討論を行います。

今回の請願は、オンデマンド交通事業における未払い問題や事業収支の悪化などについて、事実関係を整理し、議会として町民への説明責任を果たすため、調査特別委員会の設置を求めるものです。

本事業は、地域公共交通の維持・確保を目的として実施され、公費も投入されてきた事業であります。特に交通手段の確保が重要な地域において、多くの町民の期待を受けて進められてきた経緯があります。

しかしながら、現在、運行協力事業者への未払い問題や事業収支の状況、関係機関の役割分担、事業運営に至る意思決定過程などについて、町民の間に様々な疑問や不安の声が生じています。

本請願は、特定の個人や団体の責任を断定したり、追及したりすることを目的とするものではありません。

むしろ、何が起きたのか、どのような経緯で事業が進められたのか、そして今後同様の事業を進める上でどのような課題があったのかを客観的に整理し、将来に生かしていくことを目的とするものであります。

委員会においても慎重な審査が行われ、その結果、全会一致で採択すべきものとの結論に至りました。

また、委員会報告においては、必要に応じて地方自治法第100条に基づく調査権の行使も含め、実効性のある調査体制を整備することが要望されています。これは、最初から強い権限行使を目的とするものではなく、議会として必要な事実確認を適切に行うための手段を確保しておくべきであるという趣旨であります。

本件は、単なる一事業の問題にとどまりません。

行政と民間が連携して行う事業のあり方、公金支出の透明性、そして地域公共交通の将来にも関わる重要な課題であります。

だからこそ、議会として事実関係を整理し、町民への説明責任を果たし、今後の行政運営に生かしていく必要があります。

調査すること自体に反対する理由はなく、むしろ議会としての責務であり、議会が調査を行うことは、誰かを非難するためではなく、町民の信頼に応えるためであります。

議員各位におかれましては、ぜひ委員会報告に賛同いただき、本請願を採択されますようお願い申し上げます。賛成討論といたします。